



第103号



社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303  
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

### 多機能型事業所「このみ」の 事業開始について

管理課課長 窪野達章

去る5月29日に婦中多機能型事業所「このみ」の竣工式を市、県、婦中地域の関係の皆様、富山県域の福祉関係諸団体の皆様にご臨席をいただき、盛大に挙行させていただきました。

「このみ」は、富山市内在宅の支援学校修了者等の受け皿となり、重度な障がいがあっても、その有する能力及び適性に応じ、住み慣れた地域で自立した日常生活や就労等の社会生活が営むことができる複数の障害福祉サービスを提供することを目的に6月1日から事業開始しております。

多機能型事業所としての定員は、生活介護が24人、就労継続支援B型事業が20人、放課後等デイサービスが10人で、周辺環境や将来の福祉避難所の指定等を考慮した建築本体は、鉄骨造2階建て延床面積734.50㎡、付属の木造平家建て作業場の延床面積が56.27㎡となっています。

生活介護においては、身体能力、日常生活能力の維持・向上や生産活動・創作的活動等の一人ひとりの障がいやニーズに沿ったサービスを提供し、B型事業においては、弁当の調理及び配食を行う食品加工事業を中心に、内職事業、施設外支援事業により初年度の目標工賃を月額8,000円に設定する計画です。放課後等デイサービスについては、学齢児の放課後や夏休み等に自立した日常生活を営むための支援や創作的活動・作業活動、余暇支援を行う計画となっています。

施設の名称に採用した「このみ」は、「木(こ)の実」、意思決定、自己選択支援の「好み」に由来しており、施設周辺には、緑地公園やパークゴルフ場が整備され、市民の憩いの場でもあることから訪れる人たちとのふれあい、交流を持ちやすい環境に恵まれており、共生社会の理念推進を図れるものと期待しております。

# 富山市新規採用職員研修

6月3日〜12日にかけて、今年も47名の方々があざみ園にて福祉施設体験実習を行なわれました。お寄せいただいた感想文からいくつかをご紹介します。

◆入浴介助が特に印象に残っています。入居者の体調や性格をもとにコミュニケーションを取り、洗髪、体を洗う、髭剃り、入浴といった一連の流れをスムーズに行うことは、初めての体験で出来ることではありませんでした。そのような中、職員の方の介助を見ると、うまくコミュニケーションを取っているのがわかりました。今回の体験は、仕事への意識、特に人とのコミュニケーションのとり方について考える機会となりました。

ガラス美術館設置準備室

◆私はどんぐりの家で利用者さんと弁当作りをしました。利用者さんはそれぞれに自分の役割があり、とても生き生きと作業をしておられました。その人の「できる」ことに目を向け、役割分担すること、その人の居場所作りや生きがいに繋がっていると感じました。また、その弁当を地域で販売することによって地域貢献にも繋がります。地域の方と触れ合う機会もできるため、それをきっかけに障害の理解が進んでいけばいいなと思いました。

「こども福祉課

◆利用者の方々は、非常に友好的な方が多く、自分から話しかけられなくても積極的に話しかけてくださったのですが、何を伝えたいのか理解してあ

げられない場面もあり、悔しい思いをしました。例えば、始めはなかなか理解できないとしても「傾聴する。」という姿勢が大切だという職員の方のお話を聞き、今後の職務における窓口対応ではしっかりと意識していきたいと思っています。

学校教育課

◆1日という短い間でしたが、利用者の皆さんと接してみても、私自身楽しく過ごせたのと同時に、驚かされることも多々ありました。何といたっても、皆さんとても純粋で素直、そして感情表現がとても豊かでした。私も含め、今まで出会うてきた人達よりもずっと優れている、見習わなければいけないと思つた程です。そういった意味では、私にとつてとても有意義な時間となりました。私自身の人間力アップのためにも、また皆さんと様々な形でコミュニケーションできればと思います。

公園緑地課

◆あざみ園では利用者の方と草むしり、歯磨き補助、入浴介助等をさせていただきました。普段なかなか経験できない福祉の現場に関わらせていただき、人と人とのつながりを実際に体験することは、とても勉強になりました。今回の支援体験実習は、私の今後の業務だけでなく、人としての成長に繋が

がったと感じております。ありがとうございます。

工業政策課

◆私は窓口を通して知的障害者の方々に関わることがあるのですが、今回は生活面を見ることができました。利用者の方々には皆さん素直でつまづくなのですが、それぞれ感じ方や伝え方が大きく違うので、全ての方を個人として理解されておられた職員さんは素晴らしいと思います。また、自分にも必要なスキルだと思つたので、今回の研修を少しでも業務に繋げて、どんな方にもその方に合った対応ができるようになりたいです。

障害福祉課

◆普段触れ合う機会のない重度の障害をもたれる方々と、一日だけでしたが、生活を共にすることで、得がたい経験をさせていただきました。何をすればいいのか動けない場面も多々ありましたが、職員の方々はもちろん、時には利用者の方々に導かれることもありました。手を繋ぎあつてゆつくり廊下を歩いていく様子や、行き過ぎた行動にはお互いに声をかけあつていく様子を見守りながら、こんな風に惜しみなく助け合えるような社会を作りたいと思つた。あざみ園の皆さん、ありがとうございます。

図書館

◆私は以前、保育園のアルバイトで障害児を担当していました。その子は、思い通りにはいかないこともあつたと思いますが、一日を自由に保育園で過ごしても利用者と同じように一緒に過

すことを想像していました。しかし、そこには利用者同士が行動を共にして、お互いを助け合い、自分たちができることに対して精一杯取り組む姿がありました。そして、何よりも私たちにも笑顔で答えてくれました。この体験を通して私は元気をもらいました。この教えてもらった気持ちを今後にかかしたいと思います。

道路河川管理課

◆私は富山市の職員になる前は、石川県金沢市にて高齢者福祉に携わる仕事をしておりました。障害者福祉は全くの初めてであり、緊張した面持ちで今日の実習の日を迎えました。あざみ園につくと早速利用者の方が数名笑顔で出迎えてくださり、握手を求められ何とも言えないその暖かさに肩の力がスツと抜けました。そして利用者の方々がそれぞれ、自分のできることを仕事として一生懸命取り組む姿を見て、自分も負けては行かないと奮起させていたいただきました。今日の体験を基に今後の公務に活かしていきたいと考えております。ありがとうございます。

道路河川管理課

◆あざみ園では体育館でのアルミ缶潰しやウォーキング、入浴介助等をさせていただきました。実習を通して、共同生活の大変さを感じた一方で、所々で入園者の方同士が生活を支えあう微笑ましい場面も見られました。ほんの一部とはいえ、普段経験できない福祉現場を見聞きできたことが、私の業務だけでなく、人生観に対しても大変刺激になりました。

路面電車推進室


ゆとりの時間


## チューリップフェア H25.4.25

今年度最初のゆとりの時間として、砺波チューリップフェアに行ってきました。

今回は利用者5名が参加しました。前日まではまだ肌寒く、天候が心配されましたが、4月25日は快晴で屋外の外出には最適な爽やかな気候となりました。どの利用者もきれいなチューリップを眺め、リラックスした良い表情をしており、心穏やかな時間を過ごすことができました。



## ボーリング H25.5.16

皆、良いスコアを目指して真剣な表情で投球していました！沢山ピンが倒れると「やったー！」とガッツポーズをしたり、ハイタッチしたり・・・楽しいボーリング大会となりました。



## ファミリーパーク H25.5.24

今日はファミリーパークへお出かけ♪お昼ご飯を食べてから動物さん達とたくさん遊びました。また遊びに来るよ～！



## いちご狩り H25.6.4

気持ちいいぐらいに良い天気に、びっくりするぐらいに甘い真っ赤なイチゴ。そして、お互いに笑っちゃうぐらいに満面の笑顔で、楽しい楽しいいちご狩りでした♪



太陽の暖かさが甘味を引き立たせる！！



真っ赤ないちご探すのも楽しいね♪

## 花しょうぶ H25.6.25

気持ちいい夏空の中、70万株が咲き誇る頼成の森へ花しょうぶを見に行ってきました。前日までは梅雨空でしたが、日ごろの行いがいいのか、この日は快晴！さわやかな風で揺れる花しょうぶが、華麗なじゅうたんの様でした。参加した利用者の方々からは、「きれいだねえ～」「たくさん咲いてるわ。」と感嘆の声も聞かれ、道中では足湯にも入りました。心身ともにたっぷりリフレッシュできた時間となりました。

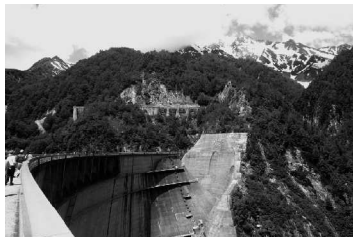


# みずほ寮宿泊旅行

(6月26日~27日)

今年度は、みずほ寮20名で宿泊旅行に出掛けました。今回のテーマは「食べて！飲んで！黒部ダム！」メインの行き先はもちろん「立山黒部アルペンルートの黒部ダム」！1日目は新川牧場でアイスクリームを食べ、宇奈月麦酒館で昼食バイキング、夜は長野県大町のホテルにて宴会をし、食べまくりの1日でした。

2日目に黒部ダムに行きました。さすが有名な景勝地だけあって、ダムの景観や放水は「さすが」の一言、ダム以上に魅力を感じたのは、



ダム周辺を囲う壮大な山々。みんな、圧倒されていました。

さあ来年はどこにいこうかな～山の次は海かな！？



# やまぶき1泊旅行

(6月12日~13日)

今年度はやまぶき寮のメンバーで女だらけの温泉旅に行ってきました。やまぶき御一行は宿泊先の「ゆのくに天祥」へ！ここでの目玉は何と言っても温泉。3つの浴場で計18の湯船を堪能してきました。夜はみんな大好きカラオケ大会。歌が途切れることなく約2時間半の間、懐かしい歌の数々、久しぶりの歌声、ダンス！？等等賑やかに海の幸と共に楽しい夜が過ぎていきました。



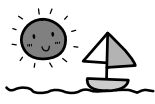
また、加賀の伝統文化友禅染等の体験をしたり、楽しみも充実。「また来年行こうね！」とやまぶき寮の皆さんの気持ちはすでに来年へと向かっています。

帰路で何が楽しかった？と聞くと、1番多かった声は「船！」予定外の海王丸の船内見学が1番、皆さんの心に残った様子。大好きな定番の楽しみだけではなく新鮮な経験も皆さんにしっかりと受け入れられているんだなあと感じた今回の旅行でした。



## 行事のご案内

### 8月の行事



- 3日 ゆとりの時間 富山まつり
- 4日 来園日
- 24日 夏祭り
- 27日 ゆとりの時間 遊覧船

### 9月の行事



- 1日 来園日
- 5日 ゆとりの時間 ぶどう狩り
- 13日 ふれあい育成スポーツ大会
- 17日 敬老会
- 22日 ゆとりの時間 ゲームセンター

### 10月の行事



- 2,3日 がたくり宿泊旅行
- 6日 来園日
- 15日 ゆとりの時間 紅葉狩り
- 20日 あざみ園祭

# 自治会だより



H25.5.22

## ふれあい スポーツ広場

5月22日に八尾スポーツアリーナで行われた「ふれあいスポーツ広場富山大会」に参加してきました！みんなで力を合わせて競技やレクリエーションに取り組み、たくさんの人たちとふれあってきました。大きな会場にみんな大興奮！思う存分歌って踊って、楽しい思い出がいっぱいできました！



みんなはやくー！負けるなー！



来年もまた参加するぞー！

### 「赤田ホーム」ニュース

吉田寿夫さんが長年務めたプリパックを6月28日に退職され、7月からは株式会社パーソンズに勤めておられます。「気持ちを新たに頑張ってます。」（吉田寿夫）



### 「羽根の家」ニュース

今まで眠っていた花壇にサルビア、日々草、ペンタスのお花を植えました。完成した花壇を見て、皆さん大満足な様子でした。



# 職員研修参加報告

## 新任職員研修

生活支援員 石黒 雄太

吉田 彩峰

な事などを多く学んできました。

### ■新任職員研修を受けて

新任職員研修では言葉遣いや新任職員としての役割など基本的な事を多く学ぶことができた。職場においての「報告」「連絡」「相談」の「報連相」については、まだまだ意識できていない事が多くあり今後自分にとっても大切なことなので考えて行動したいです。今回の研修をスタート地点とし、はやく福祉職員として一人前となれるよう頑張りたいです。(石黒)

平成25年5月21日と22日に新任職員研修があり石黒、吉田が参加してきました。まず一日目の午前は「接遇」についてI, S, K有限会社の代表取締役、市井啓子さんから講義を受け社会人としての認識と心構えや接遇コミュニケーションのポイントなどを学びました。午後は「新任職員役割行動」についてエイデル研究所の鈴木政彦さんと大塚孝喜さんから講義を受けグループワークなどテキストを使って取り組みました。2日目の午前中は「福祉サービスの理念・動向」「職場生活・組織活動の基本」「コミュニケーションの基本と実践」について、午後は「問題解決とチームワーク」「自己啓発の基本」について最後は研修のまとめをしました。2日目も1日目と同じくエイデル研究所の鈴木さん大塚さんから講義でした。二日間の中で社会人としての基本的

研修では、職場でのコミュニケーションの取り方やマナー、PDCAサイクルを意識して行うことなど、これから実践していかなければならないことをたくさん学びました。また、自分自身をもって力を引き出して支援を行うことは、自分に足りないところは何かのかという発見にもつながるので、もっと良い支援はなにかを意識しながら、利用者の方たちに接して

いきたいと思いました。常に目標を持ちながら、ひとつひとつ達成していけるようにしていきたいです。(吉田)



## 平成25年度施設ボランティア受入担当者研修会について

生活支援員 松本 達也

6月にサンシップ富山で行われた「平成25年度施設ボランティア受入担当者研修会」に参加してきました。講義では、ボランティアの概念、ボランティア受け入れについて詳しく学べました。グループワークでは「施設の夏祭り運営ボランティア活動」を題材として企画会議を行いました。同じ職種障害者支援施設や特養、社協、ボランティアコーデイネーターなど、様々な職種の話が聞けたことは非常に有意義なものになりました。

なかでも社協の方の話が印象に残り、それによると、社協は人材、機材の貸し出し(又は仲介)も行なっており、学校・地域へ

の依頼の際にも、間に社協が入ることによって押しつけがましくなく、かつ円滑にやりとりが進むとおっしゃっておられました。

イベントのボランティアは、多くが当日のみのボランティアであり、ボランティア経験がない初心者には敷居が低く、参加してもらいやすい状況です。新規のボランティアを受け入れることで施設の風通しが良くなり、他者の目が入るという点で職員の刺激にも成り得ると感じました。また、継続的なボランティアになってもらうために私たち施設側の職員が必要であり、「いつきてもよいですよ」ではなく、「次回はく月く日にあるのでまたお願いします」のほうが予定を立ててもらいやすく、施設側から評価を得ることでやりがいを感じると思います。

これからボランティア受け入れ担当として、社協等の社会資源の活用を行い、ボランティアの受け入れに対する環境作りを。職員に対してはボランティア受け入れに対して、どういう目的で受け入れてどういう活動をしようかという、組織の意志統一に努めていきたいと思えます。



# 保護者会コーナー

## 早いもので入所して一年

あざみ園保護者 村山 弘臣

始めに、あざみ園利用者の村山茂は私にとって弟にあたります。弟（茂）は、これと違って特に自分から目立つ存在ではありませんが、この保護者コーナーをお借りして入所するまでの弟の事を紹介させて頂きたいと思えます。

平成二十二年五月に母親が六十二歳で他界してしまいました。母は、生前から人一倍に健康には気をつけていて、毎年、必ず健康診断を受け、茂のために元気でいてやらなければといつも言っていました。私も突然のことで世の中に神様はいないのかと、ひどく悲しんだのを思い出します。何の前ぶれもなく旅立った母も無念だったと思います。茂も母の死を理解しているのか、いないのか、「お母さんは？」と聞くと言っているようにも聞こえます。多少なりとも受けとめて

いてくれている気もします。

母がいなくなり、弟の面倒は父が主にみることにになり、当時はあすなろに通所していたので日中の送り迎えは父が、私は自分の仕事を終えた後に入浴の担当を、食事の面は・・・男所帯でまともな自炊などできる訳もなく、栄養状態はかなり片寄っていたに違いありません。案の定、茂の体重は増える一方で、丸々として、いつの間にか私を超えるまでになってしまったのです。

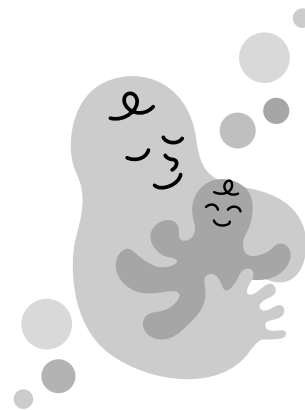
その様な生活が一年半ほど続いたでしょうか？父も茂もいろいろと良く耐え、頑張ったと思います。父も、やはり限界があったのでしよう。父も疲れを感じ始め、茂の表情もけわしくなる事が多くなりました。母の女性という存在は、大きかったんだと感じました。その様な我が家の変化を、あすなろの職員の方々も感じ取られたのでしよう。茂をシヨウトステイで預けてみては、というアドバイスを頂きました。父も茂も少しは気分が変わればと思いい、お願いしてみる事にしました。あざみ園で一週間過ごし、

次の週は普段通り自宅からあすなろに通所といった感じで、上市の四ツ葉園さんにも助けて頂きました。幸いなことに茂も喜んでお世話になっていたので楽しかったのだと思います。それが数ヶ月続き、ある時あざみ園から入所のお話を頂きました。どこかの施設も希望者が多くなかなか入所は難しいと聞いていたので驚きました。

しかし、いざ入所が決まると父も私も複雑な気持ちだったのを忘れません。安心したのと、寂しくなる気持ちが入り交じった状態で入所をお願いしました。間もなく一年ですが、規則正しい生活を送り、体重は減り茂にとっては大変良かったと思っております。時々考

えると淋しいですが、月に一度、来園日前に迎えに行った時にプレイルームでニコニコ顔の茂を見つけると、私も自然と笑顔になれるのです。今回も元気でいてくれた。いつもいつも皆様にご感謝です。

私は、これまで茂の事は両親に任せっきりだったのかもしれないが、父も高齢となり、これからはまだ身の軽い私がいかに気持ちはいいです。入所した茂にはたいした事はしてやれないかもしれないですが、ずっと見守ってやりたいと考えています。



## コ★ラ★ム

今、企業や大学が「雑談力」に注目しているという。  
なぜ今注目を集めるのか。  
「職場では、メールのやりとりが増え、近所で話す機会も減り、感情のやりとりが不足している」  
あいさつをきつかけに、もう一言。  
結論もオチもない！  
悪口を言いたいなら、芸能人や有名人をネタに！が雑談のコツだとも。  
雑談は、相手との距離を縮める。  
ムダ話こそ、役に立つらしい。

釣 由紀子

# 職員のスーヅ

## 私のすきなこと

中田 美俊 主任編

敢えて「今イチバンハマって」いる事を選ぶとすると始めて今年で2年目の「バレエ」でしょうか。踊ることに関しては見るのもするのも大好きで色々な種類のダンスを経験し、自分の身体と見つめあう(!? )うちに、身体の軸などもしつかりするとよりカッコ良く踊れるのではないかと思ひ、始めたのがきっかけです。自分には何でも出来る！と最初は正体不明の自信を胸に抱き、始めたバレエ。そんなバレエは自分のみっともなきに気付かせてくれるものでした。みっちり自分の軸と筋力、柔軟性に向き合うバレエレッスンの時間を終えると「コンテンポラリーダンス」の時間が待っています。これがまた摩訶不思議。自分の中にある「想い」みたいなものを身体表現に加えていきながら踊るので。先生は「ひとりひ



次回は柳田支援員編です。お楽しみに!!

とりにポエムがある」とおっしゃいます。「何を言ってるんだ!？」と思ひますが昨年の秋に5人のメンバーで作った作品には確かに何か物語のようなものを感じました。先生の振り付けに「想い」を封じ込めること。一人ひとりのフィジカルはもちろん違ひ、想ひも違ひ。そこから生まれてくる作品にはちゃんと個性というか：一人ひとりの物語が見えてくるのです。バラバラの個性がひとつにまとまる瞬間は今まで味わったことのない充実感を与えてくれました。どこまでイケるか分かりませんが自分自身で「ヨシ！」と思えるまでガンバリます。

## あざみ園へ来園された皆さん

(平成25年5月～7月)(敬称略)

- ・アスリートファーム 代表 小川恭二
- ・(株)八尾サービス 総務課長 西森正明
- ・富山市職員研修所 准教授 経明勝子
- ・宮城県南三陸町のぞみ福祉作業所 所長 畠山光浩 支援員 田中青志

## 善意の心

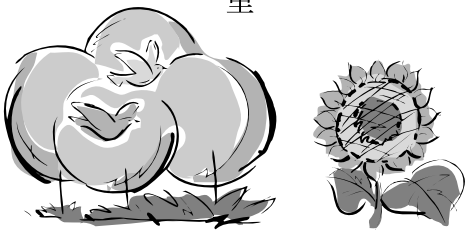
ありがとうございます

(平成25年5月～7月)(敬称略)

・金岡紘子

■多機能型事業所このみ竣工式

- ・古里自治振興会
- ・富山県手をつなぐ育成会
- ・富山市手をつなぐ育成会
- ・婦中町羽根地区自治会
- ・恵光学園
- ・砺波学園
- ・野積園
- ・けやき苑
- ・新川会四ツ葉園
- ・めひの野園
- ・溪明園
- ・新生苑
- ・野の草会こもれびの里
- ・つつじ保護者会
- ・倉知 照
- ・本木由美子
- ・堀岡 浩
- ・日本海建興株式会社
- ・日本海ガス株式会社



## 実習生

○保育実習 6月17日～6月28日

富山福祉短期大学 幼児教育学科2年

浅野由可理 澤田 莉子

浅野 慎 深川 裕亮

○介護等体験 6月13日～7月12日

富山国際大学 子ども育成学科2年

横川 駿 木戸 祥也

黒田 茉南 早崎 和基

## ボランティアありがとうございます

(平成25年5月～7月)(敬称略)

- ・関由美子 (食品加工)
- ・道下和美 (音楽療法)
- ・中野裕子 (音楽療法)
- ・山本明美 (アクアクラブ)
- ・大瀬春江 (手工芸クラブ)
- ・石田すみ子 (手工芸クラブ)
- ・日赤奉仕団 (シーツ交換)

## ご結婚

7月7日

・柳田支援員、五十嵐支援員 入籍

## 編集後記



恵風会で三組目のカップル誕生です。おめでとうございます。

